

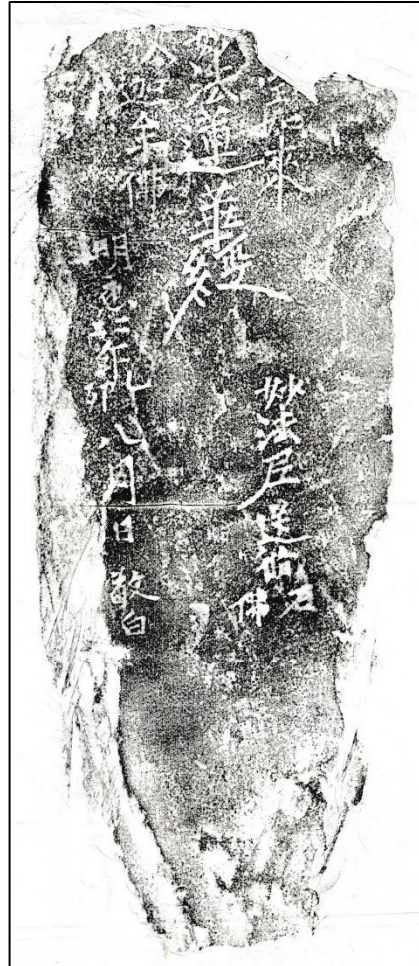
(1) 小池の新発見の題目板碑

5月28日、小池の旧家の聞き取り調査で今回初めて所在がわかった新史料の板碑を青田会員がお借りし郷土博物館に持参され、写真撮影と拓本採取、法量測定を行いました。

所蔵する旧家では、今も大事に拝んでいるとのこと。緑泥片岩に混じる雲母がキラキラしていて、ありがたくお思いだそうです。

大きさは、40.5×15.5cmで、上部が欠損しています。

銘は「〔 〕妙法蓮華經／〔 〕宝如来／〔 〕釈迦牟尼佛／妙法尼逆修／石佛／明應二二年（4年1495）乙卯八月日敬白」で年銘と人名が判明できる「逆修」の題目板碑でした。（「逆修」とは、生前に後生安楽を祈る法要のこと。故人の追善のために3～33年の回忌に建てる石碑と異なり、建てた正確な造立年銘がわかる貴重な史料です）。



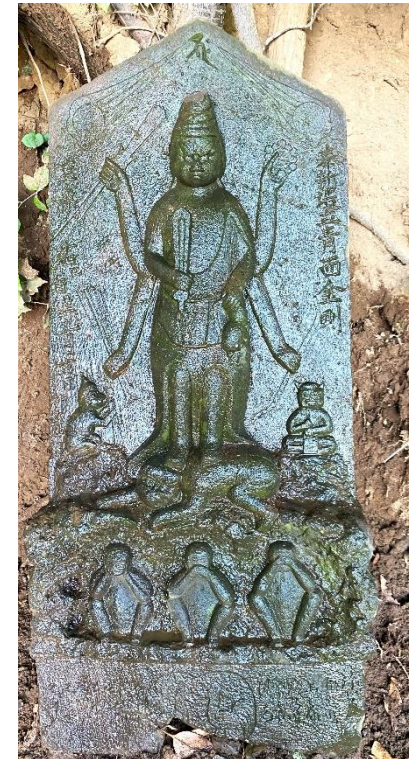
(2) 神野の古道十字路の享保14年銘庚申塔について

神野の古道十字路の崖上の樹の枝に引っかかって今にも落ちそうだった享保14年銘庚申塔が、5月29日の強風で崖下に落ちてしまったのお知らせを、小林会員からいただき、6月3日午後、見に行ってきました。

この庚申塔については神野の総合調査として、『史談八千代』47号（2022）に報告、「ふるさとの歴史展」では、地元の方々にもこの庚申塔の価値と危険な現状について説明したところです。

現地へ行くと、崖下の道端に立てかけてあり、土まみれでしたので、ブラシで水洗いすると、安山岩にきれいな浮彫が現れ、幸いなことに損傷していませんでした。

帰りに、調査でお世話になっていた旧家の安藤様宅に寄りました。安藤様のお話しでは、30日、強風で道路上に落ちたこの庚申塔を4人がかりで動かし、通行の邪魔にならないよう、脇に寄せて立てかけたとのこと。ケガした人もなく、よかったですとおっしゃっていました。



参考

神野地区石造文化財調査カード 調査日 2022.7.5 調査者 蕨・島山・松柴・小林

調査 No. 40 (『市史』一覽表)	種類: 庚申塔	安山岩	所在地: 神野 宇南台
造立年月日: 享保 14・9・吉	像容: 青面金剛・二夜叉・邪鬼・三猿・二鶏・日月		形状: 駒型
西暦: 1729	法量: 100×46×18 c m		
銘文: (バク) 奉新造立青面金剛 神野村 (人名 13 人)			銘文 (上部)
 <p>二夜叉像</p>			<p>奉新造立青面金剛</p> <p>(月)</p> <p>種字 (バク) (六臂青面金剛像) (夜叉) (夜叉)</p> <p>(目)</p> <p>享保十四_己 酉星九月吉日</p> <p>神野村</p>
 <p>台座部分銘文</p>			
<p>久 <input type="checkbox"/> 五 <input type="checkbox"/> 長 <input type="checkbox"/> 榑 <input type="checkbox"/> 長 <input type="checkbox"/> 弥</p> <p><input type="checkbox"/> 兵 <input type="checkbox"/> 十 <input type="checkbox"/> 七 <input type="checkbox"/> 兵 <input type="checkbox"/> 之</p> <p><input type="checkbox"/> 衛 <input type="checkbox"/> 郎 <input type="checkbox"/> 郎 <input type="checkbox"/> 衛 <input type="checkbox"/> 七 <input type="checkbox"/> 丞</p> <p>(二鶏)</p> <p>快元 <input type="checkbox"/> 兵 <input type="checkbox"/> 太 <input type="checkbox"/> 午</p> <p>助之丞</p>			